LINE DRAPE

タテ型ブラインド ラインドレープ

ホームタコス

取扱説明書 兼 無償修理規定

このたびは、弊社製品をお買上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

販売店様へ

製品を販売店様でお取付けになられた場合は、
この取扱説明書 兼 無償修理規定はご使用になられるお客様へお渡しください。

タチカワブラインド

安全上のご注意（必ずお守りください）

この「取扱説明書」では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

●表示内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠	**警告**	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が想定される内容を示しています。
⚠	**注意**	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結びつく可能性が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

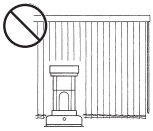
⃠	してはいけない禁止の行為です。
❗	必ず実行していただく強制の行為です。

ご使用になる前にお読みください

⚠ 警告

■お子様を製品に近づけないでください。スラット（羽根）やボトムコードに引っ掛かる等して、思わぬ事故を招くことがあります。

■火のそばではご使用にならないでください。製品が溶けたり、燃えたりして危険です。



⃠ 浴室や風雨にさらされる場所など、湿気の多い場所ではご使用できません。感電、火災、故障、変形の恐れがあります。

⃠ 分解や改造をしないでください。火災や感電、けがの原因となることがあります。

⃠ 交流100V以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。

⃠ 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねて通電したり、高温部に近づけたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。感電、ショート、発火の原因になります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用になる前にお読みください

⚠ 警告

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差込みがゆるいときは使用しないでください。感電、ショート、発火の原因になります。

電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。感電、ショート、発煙、発火の原因となります。

電源プラグの刃は定期的に乾いた布で拭いてください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

お手入れの際には必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電やけがをすることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火する原因となることがあります。

長時間ご使用にならないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

電池を使用する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液漏れによる火災、けがや周囲を破損する原因となります。

指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池、銘柄の違う電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれによる火災、けがや周囲を破損する原因となります。

電池を加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれによる火災、けがの原因となります。

乾電池は充電しないでください。電池の破損、液もれにより、火災、けがの原因となります。

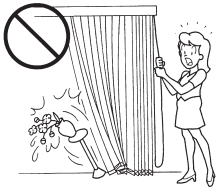
安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用になる前にお読みください

⚠ 注意

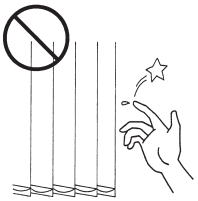
■ 製品にぶらさがったり、無理に引っ張ったりしないでください。また、製品にものを掛けたりして、無理な力をかけないでください。製品が破損したり、落下によりけがをする場合があります。

■ 製品の動く範囲内に人や動きを妨げるものがないことを確認してください。けがをしたり、ものが破損する場合があります。



■ 窓を開ける時は、できるだけスラット（羽根）をたたみ込んでください。特に風の強いときは注意してください。製品の破損や、思わぬ事故につながる場合があります。

■ スラット（羽根）によっては、端部は不用意に扱うと、手を切る場合がありますのでご注意ください。



使い切った電池はリモコンからすぐに取外してください。使い切った電池を長い間、リモコンの中に放置すると液もれなどを起こし、故障の原因となります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お取付けになる前にお読みください

⚠ 警告

❗ 製品重量に耐えられる下地に取付けてください。

⚠ 注意

🚫 付属の取付けビスは木部用です。木部以外への取付けにはご使用にならないでください。木部以外への取付けは専用のビス、アンカー等をご使用ください。

❗ 本体取付け時には、ブラケットに本体が確実に固定されていることをと確認してください。確実に固定されていないと製品が落下することがあります。

使用環境上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 注意

🚫 この製品は屋内用として作られたものです。屋外ではご使用できません。

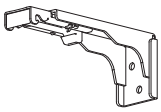
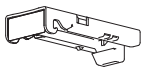
🚫 蒸気等の充満する浴室等ではご使用できません。サビなどの発生により製品の機能低下、または不具合発生の原因となります。

🚫 水気のかかる場所、結露に触れるような場所ではご使用にならないでください。スラットにシミ等が発生する場合があります。

🚫 窓を開けての直射日光をスラットに当てないでください。スラットが極端に退色、変色する場合があります。

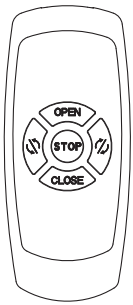
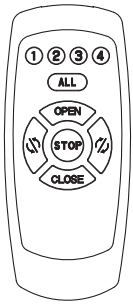
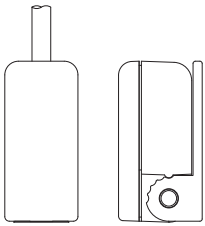
付属品の確認 （施工する前にまず付属部品をご確認ください）

本体付属部品

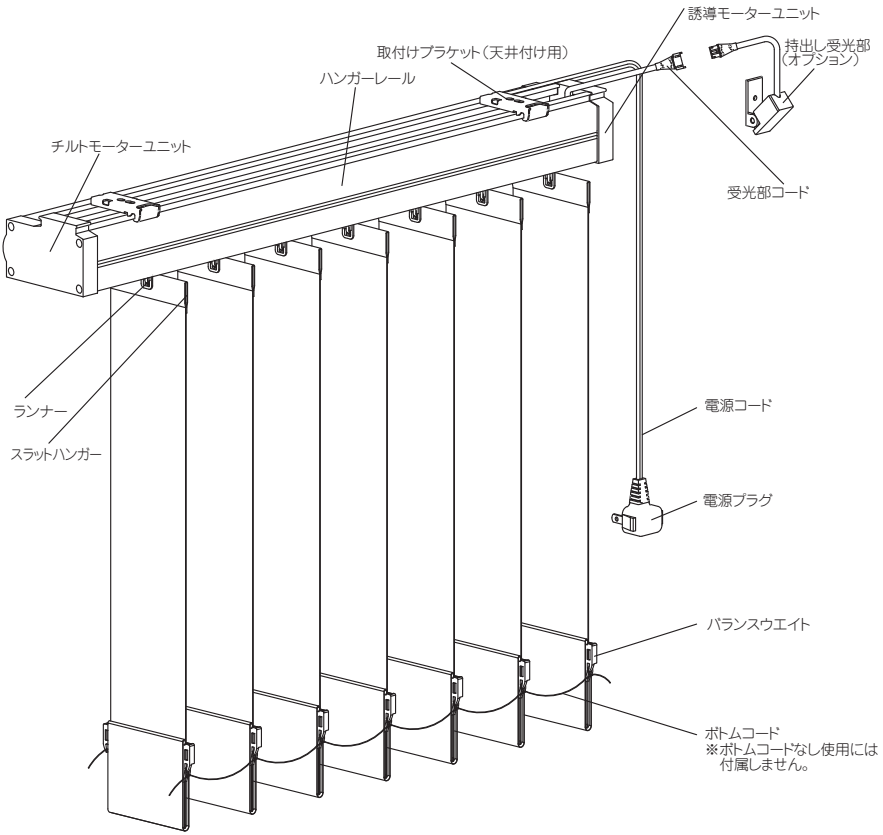
部品名 ＼ 製品幅	取付けブラケット		取付けビス	ワイヤークランプ
	正面付け	天井付け		
			φ3.5×16	
～1000	2個		6本（4本）	3個
1010～2000	3個		9本（6本）	
2010～3000	4個		12本（8本）	
3010～4000	5個		15本（10本）	

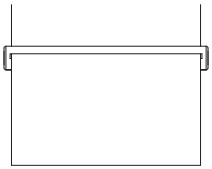
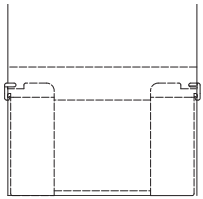
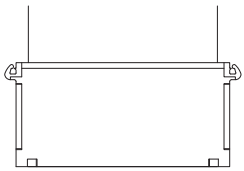
※（　　）内は、天井付けの場合。

オプション部品

	シングルリモコン	アドレスリモコン	持出し受光部
部品名			
付属部品	単4乾電池×2本 リモコンホルダー×1個 取付けビス（木部用）×2本		取付けビス×1本 （木部用）

各部の名称



バランスウェイト （巻き込み仕様）	バランスウェイト （袋縫い仕様）	バランスウェイト （挟み込み仕様）
		

製品の取付けかた（安全のため、コンセントを抜いた状態で行ってください）

1　初期設定（アドレス設定）

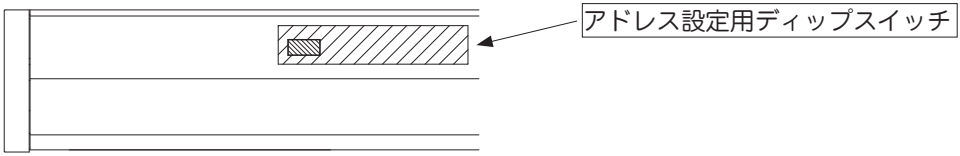
※アドレスリモコンご使用の場合のみ（シングルリモコンご使用の場合は不要です）

アドレスリモコンをご使用の場合は、製品ごとにアドレスの設定が必要となります。
アドレスを設定することにより４台（または４グループ）までの製品を個別操作または一斉操作することができます。

＜設定方法＞

アドレス設定はハンガーレール下面にある６つのディップスイッチで設定します。アドレス設定明細シールに従い、№１～３のディップスイッチで設定してください。

注）№４～６は工場出荷時に設定済みです。アドレス設定時には動かさないでください。
製品の故障の原因となります。



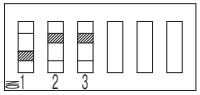
アドレス設定明細シール

ディップSW
OFF
ON

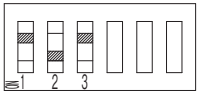
製品アドレス	ディップスイッチ No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6
1	ON	OFF	OFF	未使用	未使用	OFFは右納まり
2	OFF	ON	OFF			
3	ON	ON	OFF			
4	OFF	OFF	ON			ONは左納まり
シングル	OFF	OFF	OFF			

参考）アドレスごとのディップスイッチの設定
ディップスイッチ№1 ～ 3で設定します。
注）ディップスイッチ№4 ～ 6は動かさないでください。

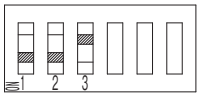
アドレス１



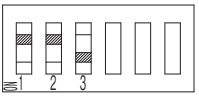
アドレス２



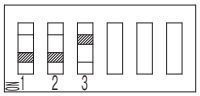
アドレス３



アドレス４



例）ある製品を「アドレス３」として設定したい場合は、ディップスイッチ№1と 2 を「ON」に№3は「OFF」の状態にします。



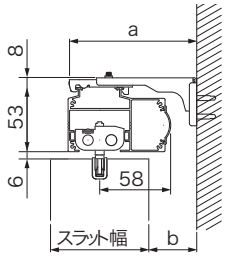
※初期設定は必ず電源プラグをコンセントに差込む前に行ってください。
電源投入（電源プラグをコンセントに差した）後に設定すると正常に動作しない場合があります。

製品の取付けかた（安全のため、コンセントを抜いた状態で行ってください）

必要な工具：プラスドライバー・巻尺（スケール）・ハサミ

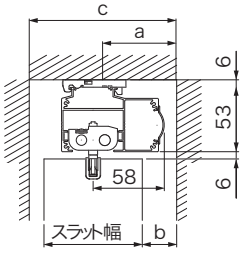
製品の取付けかたには、以下の２つの方法があります。

正面付け（ブラケット付け）



	80㎜	100㎜	127㎜
a寸法	89	95	103
b寸法	25	20	15

天井付け（ブラケット付け）



（寸法表）

	80㎜	100㎜	127㎜
a寸法	65以上	65以上	74以上
b寸法	30以上	20以上	15以上
c寸法	125以上	135（140）以上	160以上

（ ）内は挟み込みウェイト対応生地の場合

2　ハンガーレールの取付け

1）製品の確認

製品の変形、破損、付属部品の不足等がないことを確認してください。異常がある場合は取付けできませんので、お買い上げいただいた販売店、最寄りの当社支店までご連絡ください。

2）取付け下地の確認

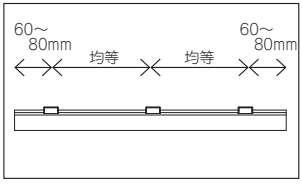
製品に付属しているビスは木部用です。木部以外への取付けには使用しないでください。
木部以外の下地に取付ける時は、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。

・木部に取付けるときは、厚みが10ｍｍ以上であることを確認してください。
・取付け部が水平になっているか確認してください。
・製品の動く範囲内に障害物がないか確認してください。

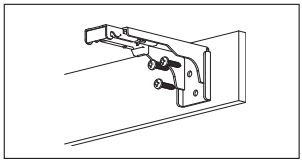
3）ブラケットの取付け

・製品両端部より60 ～ 80ｍｍ離した位置にブラケットをビスで固定してください。
・ブラケットが３個以上の場合は、両端のブラケット間を等分にした位置で、両サイドのブラケットと一直線上になるように取付けてください。
・正面付けの場合は、ブラケットが水平になるように取付けてください。

ブラケット取付け位置

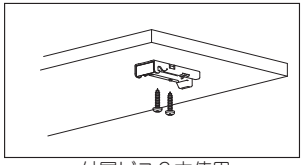


●窓枠を覆う場合（正面付け）



付属ビス３本使用

●窓枠内、カーテンボックス内に取り付ける場合（天井付け）



付属ビス２本使用

製品の取付けかた（安全のため、コンセントを抜いた状態で行ってください）

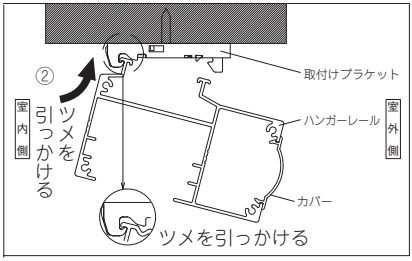
4）ハンガーレールの取付け

ハンガーレールの取付け方法は、正面付け、天井付けともに同様です。

・製品右側に電源コードと受光部コード、製品左側に連窓用コードがあります。
ハンガーレールを取り付ける際には、コードを挟まないように注意してください。
・製品右側の受光部コードと製品左側の連窓用コードが室内側に出ている状態でハンガーレールを取り付けてください。（連窓用コードは連窓の場合のみ使用します）

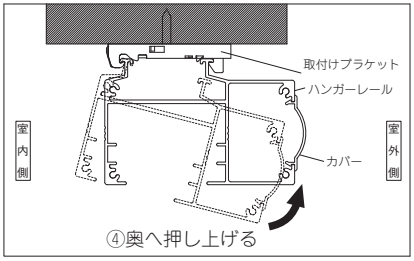
①ハンガーレールの向きを確認します。樹脂のカバーのついている方が室外側になります。

②ハンガーレールを両手で持ち、取付けブラケットの手前のツメにハンガーレールを引っかけてください。



③引っかけた状態で左右のバランスを見て位置を決めてください。
※連窓両開きの場合は、左右の製品のハンガーレールの端部がくっつくように位置を決めてください。

④ハンガーレールを矢印の方向にもっていき「カチッ」と音がするまで押し上げてください。



⚠注意

ハンガーレールの取付け時には、取付けブラケットにハンガーレールが確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと、製品が落下し思わぬケガをすることがあります。

3　左右の製品の接続（連窓両開きの場合のみ）

※連窓両開きの場合のみ（片開き・両開きの場合は不要です）

1）ケーブルの確認

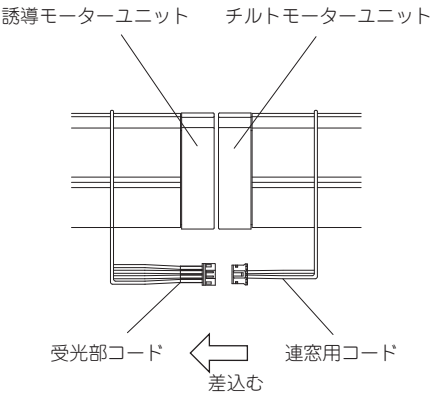
製品右側の受光部コード、製品左側の連窓用コードが室内側に出ていることを確認してください。室内側にない場合は、ハンガーレールを取外し、受光部コードが室内側に出るように、ハンガーレールを取付け直してください。

2）接続

右側の製品の連窓用コードのコネクターを、左側の製品の受光部コードのコネクターに差込んでください。

3）ケーブルの収納

接続した受光部コードと連窓用コードをレール上部に納めてください。



製品の取付けかた（安全のため、コンセントを抜いた状態で行ってください）

4　持出し受光部（オプション）の取付け

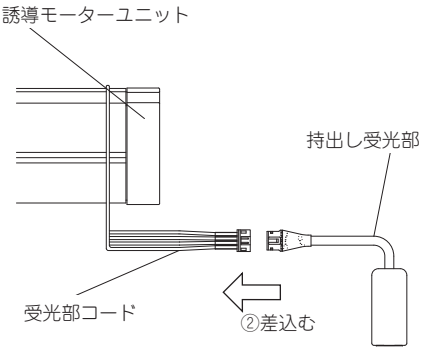
＜持出し受光部の取付け場所について＞

・リモコンからの信号を受信できる位置に取付けてください。
・スラットが動く範囲内には取付けないでください。
・リモコンの信号には赤外線を使用していますので、次のような「赤外線が強く当たる場所」には取付けないでください。
　①直射日光の当たる場所や、直接当たらなくても光が反射して眩しい場所
　②白熱灯、ヒーターや暖房機器など高熱を発する機器の近く
　③蛍光灯など照明機器の近く
　④ホームセキュリティーなどのセンサー用赤外線が照射されている領域

※取付ける前に、コードの確認を行ってください。
製品右側の受光部コードが室内側に出ていることを確認してください。室内側にない場合は、ハンガーレールを取外し、受光部コードが室内側に出るように、ハンガーレールを取付け直してください。

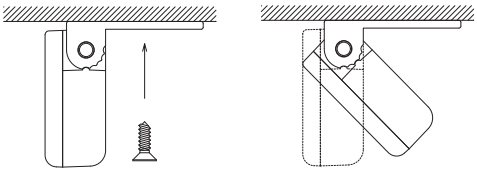
1）接続

①製品の右側から、受光部コードが出ている状態で、
②持出し受光部のコネクターを、製品右側の受光部コードのコネクターに差込んでください。

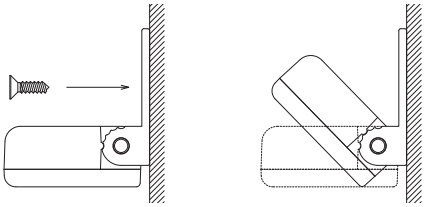


2）持出し受光部を固定

持出し受光部を付属のビスで壁面等に固定し、リモコンからの信号が当たりやすいよう、角度を調整してください。



＜天井付け＞



＜正面付け＞

3）付属のワイヤークランプを使って、電源コードを製品の動きを妨げないように固定してください。

4）電源プラグをコンセントに差込んでください。

製品の取付けかた

5　スラット部の取付け

1）スラットの取付け

①開閉ボタンを押してスラットフックの向きをハンガーレールに対して直角にしてください。

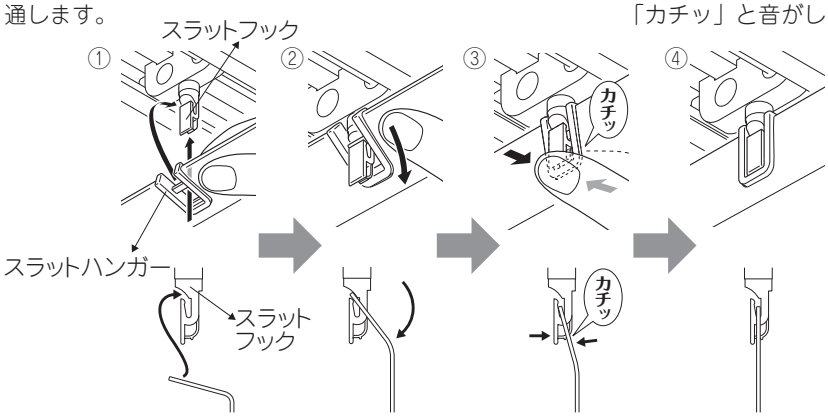
②スラットを取付けます。

スラットとスラットフックには表裏があります。スラット上部に生地の折り返しのない面がスラットの表面です。出荷時はスラットの表面を内側に巻いて梱包されています。全てのスラットはスラットフックと表裏をそろえて取付けます。

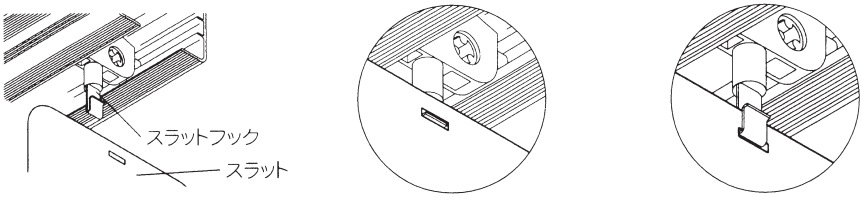
①スラット上部を、ハンガーレールと水平に寝かせた状態にして、スラットハンガーを下からフックに通します。

②矢印の方向に軽く引き下げフックに吊ります。

③スラットハンガーが垂直になるように軽くひねりセットします。垂直になるとフックにはまる時に「カチッ」と音がします。



●アルミスラットの場合



※日射方向など使用環境に合わせて、スラットの表裏を逆に取付けることもできますが、スラットによっては見え方が異なる場合がありますのでご注意ください。

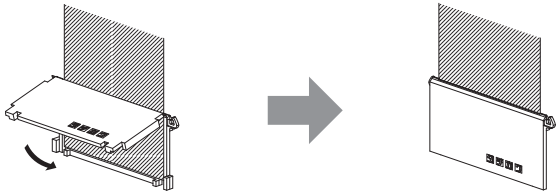
※柄合わせが必要な生地については、スラット梱包箱に同封している取付け補足説明書に従ってください。

※取付け直後、スラットがねじれたりすることがありますが、しばらくすると安定します。一昼夜たっても解消しない場合は、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

製品の取付けかた

2）バランスウエイトの取付け（挟み込み仕様の場合）

スラットをバランスウェイトに差込み、表面を押さえて閉じてください。



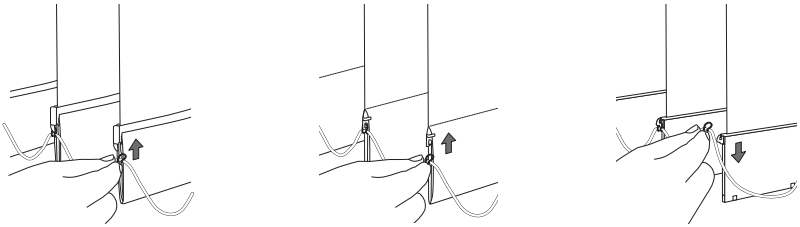
注意

・スラットを不用意に扱うと、スラット端部で手を切る場合がありますのでご注意ください。
・バランスウェイトの取付け後は確実にバランスウェイトにセットされていることを確認してください。

3）ボトムコードの取付け（ボトムコードなし仕様の場合は不要です。）

①開閉ボタンを押してスラットの向きをそろえます。
②ボトムコードについているリングをバランスウェイトのフックに取付けます。

●巻き込み仕様の場合　●袋縫い仕様の場合　●挟み込み仕様の場合

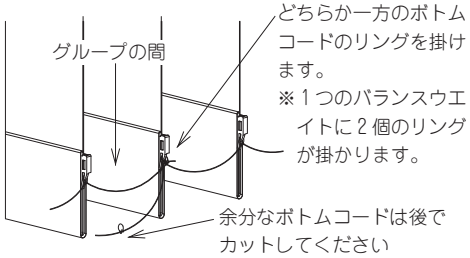


注意

スラットが落下しないよう、必ずスラットを片方の手で支えながら、コードの取付けを行ってください。

＜スラット数枚ずつのグループにボトムコードが付けてある場合＞

各グループの両端にはリング１つ分ずつ多くセットされています。
どちらか一方のボトムコードを隣り合うバランスウェイトにかけてください。

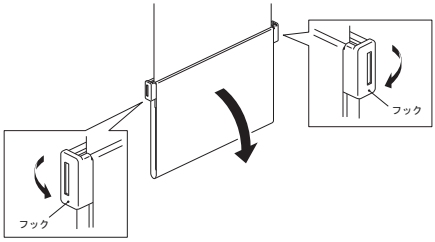


製品の取付けかた

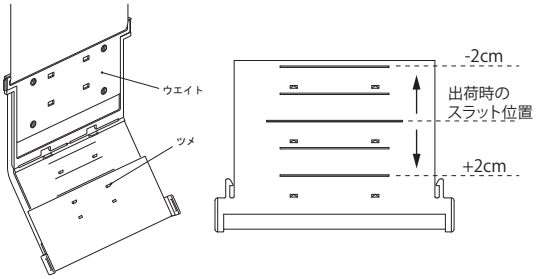
4）スラット丈の調整

●バランスウェイトが巻き込み仕様の場合

①バランスウェイトを両手で持ち、両側のフックを押し広げるようにして外します。

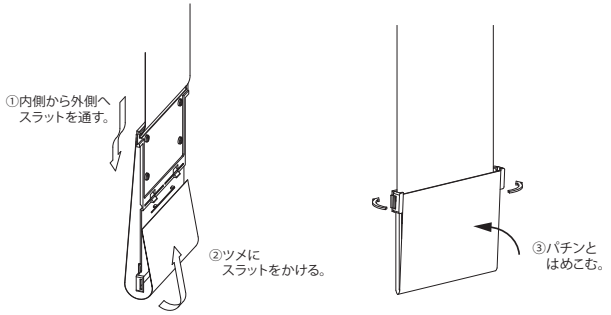


②バランスウェイトにあるスラットを引っかけるツメに対して、スラットの位置を上下に変更することでスラット丈を±2cm調整ができます。



※更に短くしたい場合はスラットの切断位置を決め、ハサミで切取ります。
ツメにあわせキリ状のもので穴を開けます。

③調整後はバランスウェイトを元通りにセットし閉じてください。



●バランスウェイトが挟み込み仕様の場合

スラットを短くしたい場合はスラットの切断位置を決め、ハサミで切り取り調整します。

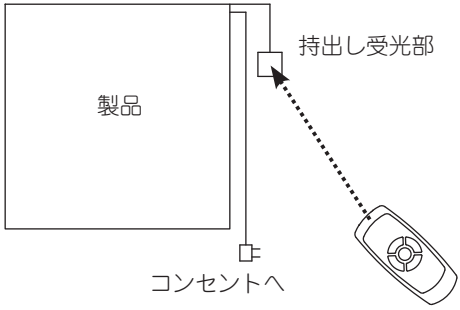
注意

・スラットを不用意に扱うと、スラット端部で手を切る場合がありますのでご注意ください。
・バランスウェイトの両サイドのフックは無理やり広げないでください。割れる恐れがあります。
・スラット丈の調整後は、スラットが確実にバランスウェイトにセットされていることを確認してください。

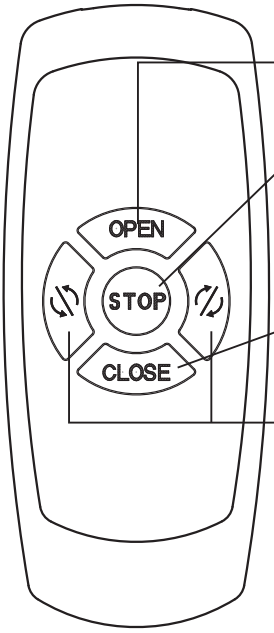
操作のしかた

※製品を操作する前に、製品の動く範囲内に動きを妨げるものがないことを必ず確認してください。

～シングルタイプ～



シングルリモコンにて操作



OPENボタン
　スラットがたたみ込まれます（誘導動作）。

STOPボタン
　誘導動作を止めます。

CLOSEボタン
　スラットが広がります（誘導動作）。

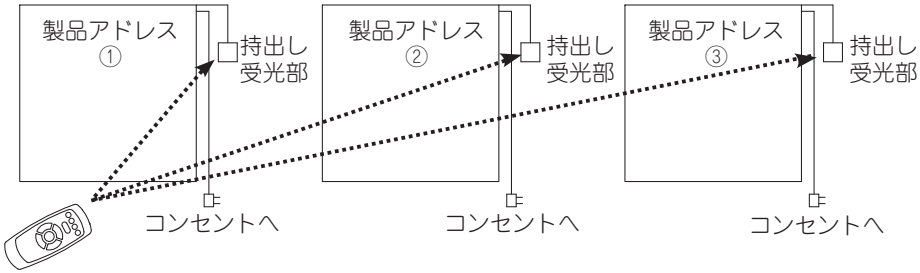
開閉ボタン
　スラットの向きを変えます。
　開閉ボタンは押している間のみ動作します。
　※スラットが全て広がった状態で操作してください。
　　注）誘導動作中に開閉ボタンを押してもスラットの開閉は行われません。一度STOPボタンを押し製品を止めてから操作を行ってください。

注）リモコンは赤外線での送受信、送受信到達距離は約7m、角度約30度以内となります。

操作のしかた

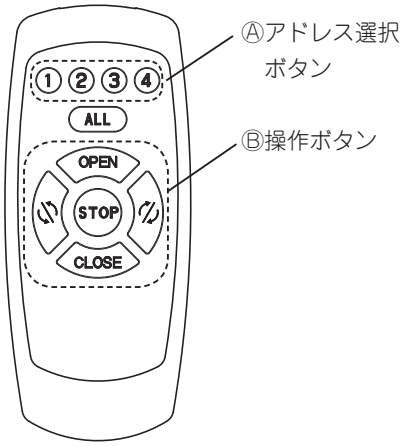
※製品を操作する前に、製品の動く範囲内に動きを妨げるものがないことを必ず確認してください。

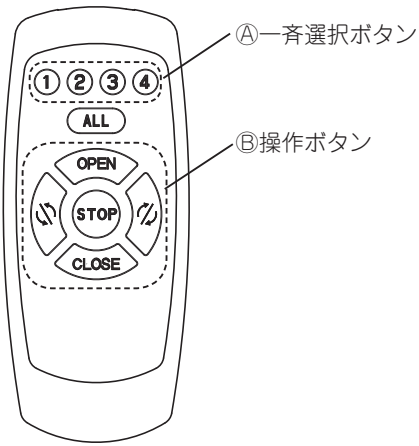
～アドレスタイプ～



アドレスリモコンにて操作

個別操作 ※個別に製品を動かす操作	一斉操作 ※一斉に製品を動かす操作
Ⓐ操作したいアドレス選択ボタンを押す Ⓑ操作ボタンを押す	Ⓐ一斉選択ボタンを押す Ⓑ操作ボタンを押す





※操作ボタンでの動作は、シングルリモコンと同様となります。
　STOPボタンは個別操作、一斉操作に関係なく、押すとすべての製品が止まります。

※連窓両開きの場合、左右の製品を一斉に操作する際、左右の製品でスラットの回転角度、誘導スピードが異なる場合があります。

注）リモコンは赤外線での送受信、送受信到達距離は約7m、角度約30度以内となります。一斉操作でも送受信距離および角度が範囲外の場合、製品全台数を一斉に操作できない場合があります。

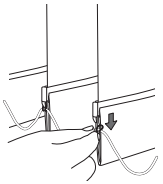
製品の取外しかた（安全のため、コンセントを抜いた状態で行ってください）

1）ボトムコードの取外し（ボトムコードなし仕様の場合は不要です。）

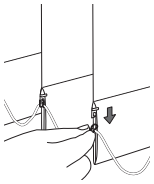
①開閉ボタンを操作してスラットの向きをそろえます。

②ボトムコードについているリングをバランスウェイトのフックから取外します。

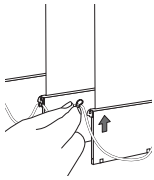
●巻き込み仕様の場合



●袋縫い仕様の場合



●挟み込み仕様の場合



注意　スラットが落下しないよう、必ずスラットを片方の手で支えながら、コードの取外しを行ってください。

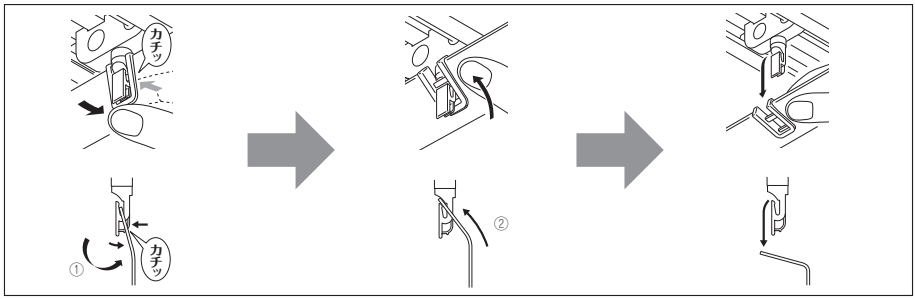
2）スラットの取外し

スラットフックには表裏があります。スラットの取外しは必ずスラットフックの表裏を確認し、以下の手順で行ってください。

スラットハンガーをフックに対して矢印①の方向に倒してください。「カチッ」と音がします。

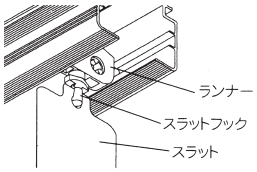
矢印②の方向に持ちあげるようにすると再度「カチッ」と音がしてツメが外れます。

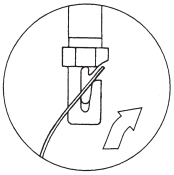
そのままハンガーレールと水平の状態でフックから抜き取ります。

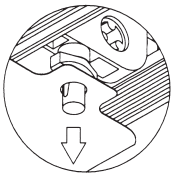


●アルミスラットの場合

スラットを上に少し上げるようにしてスラットフックから取外します。





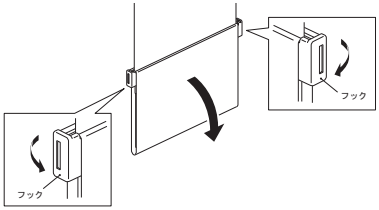


注意　スラットを不用意に扱うと、スラット端部で手を切る場合がありますのでご注意ください。

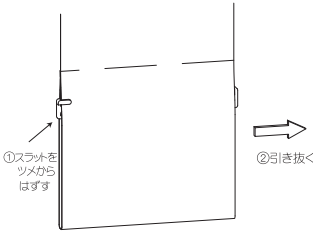
製品の取外しかた（安全のため、コンセントを抜いた状態で行ってください）

3）バランスウェイトの取外し

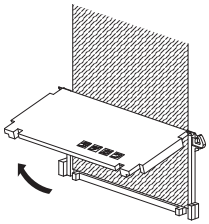
●巻き込み仕様の場合
バランスウエイトを両手でもち、両側のフックを押し広げるようにして外します。



●袋縫い仕様の場合
バランスウェイト上部のツメをスラットから外し、横から抜き取ります。



●挟込み仕様の場合
バランスウェイト下部のツメを押し広げるようにして開きます。

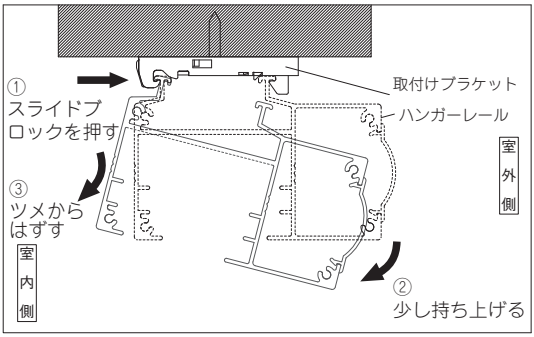


注意　バランスウェイトの両サイドのフックは無理やり広げないでください。
割れる恐れがあります。

4）ハンガーレールの取外し

ハンガーレールの取外しは、スラットと持出し受光部を取外した後に行ってください。
連窓両開きの場合は、左右の接続を外してから行ってください。

①ハンガーレールを手で支えた状態で、取付ブラケットのスライドブロックを指で押すと、後側のロックが解除され、ハンガーレール前面のツメだけが引っかかった状態になります。
②ハンガーレールを少し持ち上げるようにして取外します。



注意　危険防止のため、ハンガーレールが落下しないように手で支えながら作業してください。

スラットの洗濯方法　ウォッシャブル生地の場合

ウォッシャブルのスラットは、スラットを取外してご家庭の洗濯機で洗うことができます。ウォッシャブルのスラットには、スラット裏面上部に取扱い絵表示が縫い付けてあります。（スラット１種類につき１枚のみ）

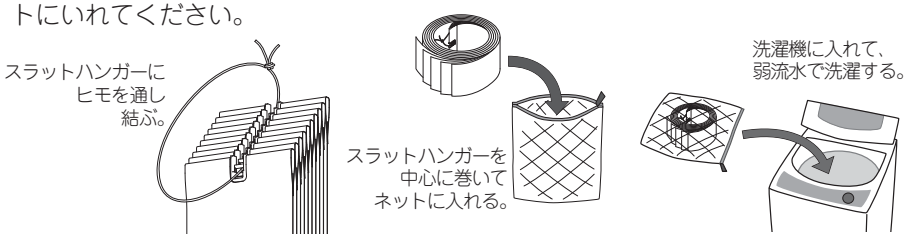
１）スラットの取外し…17ページをご覧ください。

①スラットを全て取外し、スラットからバランスウェイトを外します。

②10枚程度ごとにまとめ、スラットハンガーの穴にヒモを通し結びます。

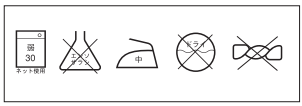
③スラット上部を中心（内側）にして巻き、巻きがほどけないぐらいの大きさのネットに入れます。

※ネットが大きい場合は、巻きがほどけないように外側を軽くヒモで結んでからネットにいれてください。



２）スラットの洗濯・乾燥

＜取扱い絵表示の例＞



洗濯・乾燥は、取扱い絵表示に従って行ってください。

●洗濯のしかた

・必ずネットに入れ、弱水流で洗濯してください。

・スラットの一部が汚れた場合は、洗濯の前に汚れた部分を軽くたたき洗いしてからスラット全体を洗濯してください。全体を洗濯しないと部分的にシミになることがあります。

・衣類など他のものと一緒に洗わないでください。

・漂白剤の使用は避けてください。

●乾燥のしかた

・乾燥は物干しなどに引っかけ、陰干しで乾燥させてください。

・タンブラー乾燥機は使用しないでください。

・しわになりにくい生地を使用していますが、乾燥後しわが気になる場合は取扱い絵表示に表示している温度と方法に従って、軽く上から押さえるようにアイロンをかけてください。

※引っぱるようにアイロンをかけるとスラットが伸びる可能性があります。

３）スラットの取付け･･･12ページをご覧ください。

スラットに外してあったバランスウェイトを取付け、スラットフックに吊りこんでください。

お手入れのしかた

●日頃のお手入れは、羽根バタキ等でほこりを取り払ってください。
●水拭き可能なスラットの場合（バランスウェイト挟み込み仕様）、水または中性洗剤を含ませた布を絞り、汚れた部分を拭き取ります。その後必ず水拭きしてください。

故障かな？と思ったら

製品の故障かな？と思った場合は、以下の項目をご確認ください。

こんなときは

症　状	原　因	処　置
製品が落ちた。	取付けビスが抜けた。	取付ける面の種類に応じた取付け方で取付けてください。 お買上げいただいた販売店にご相談ください。
	製品がブラケットに確実に固定されていなかった。	この取扱説明書にしたがって、再度取付けてください。
スラットが落ちた。	スラットフックが抜けた。 または折れた。	ランナーの交換が必要です。 お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
開閉操作ができない。	ランナーに異常が生じている。	お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
スラットの角度が不揃いになっている。	スラットの回転がうまくいかなかった。	いったん全てのスラットを全閉状態にしてから再び角度を調整してください。
取付け直後、スラットがねじれている。	スラットが安定してない。	しばらくすると安定します。一昼夜たっても直らない場合は、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
誘導操作で、全てたたみ込んだ状態、あるいは全て広がった状態になっても、モーターの音がする。	設定が間違っている。	コンセントを抜き、アドレスの再設定が必要です。この取扱説明書にしたがって、再度設定してください。
途中で止まってしまう。	生地が引っかかっている。	引っかかりを解除してください。
	機構部が故障している。	お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

故障かな？と思ったら

製品の故障かな？と思った場合は、以下の項目をご確認ください。

こんなときは

症　状		原　因	処　置
CLOSE/OPEN位置で止まらない。		CLOSEリミットが故障している。	お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
製品が動かない。	電源プラグをコンセントに差し込んでもコントローラ下部または持出し受光部が点滅しない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認してください。
		コントローラが故障している。	お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
	リモコンで操作した時に、コントローラ下部または持出し受光部が点滅しない。	リモコンの電池が切れている。	リモコンの電池を交換してください。
		リモコンの電池の向き（＋・－）が逆になっている。	リモコンの電池の向きを正しく直してください。
		コントローラの受光部に、直射光や赤外線が当たっている。	コントローラ・持出し受光部を暗い場所に移動させてください。
	コントローラ下部が点滅するが、製品は動かない。	モーターが故障している。	お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
	上記以外の場合	アドレス設定が間違っている。	この取扱説明書にしたがって、再度設定してください。
		コネクターの接触が悪い。	各コードを一度外し、再度接続してください。

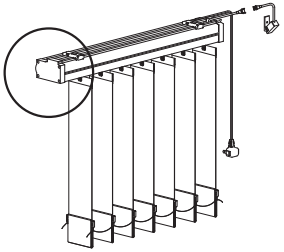
仕様

使用電圧	周波数	消費電力	使用温度
AC100V	50 ／ 60Hz共通	20W	－10℃～ 45℃

メンテナンスシールのみかた

製品には、その製品のスラットNo．製品サイズなどがわかるメンテナンスシールを貼付けてあります。修理や部品交換等のお問合せの際、このシールに記載されている内容をお手元にご用意いただくと、スムーズに対応することができます。
お問合せの前に、あらかじめご確認ください。

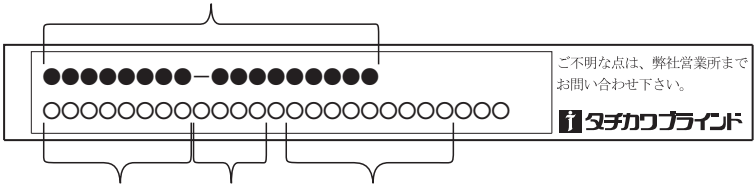
【メンテナンスシール貼付場所】



製品正面から見て
ハンガーレールの左側に貼付

【メンテナンスシール記載内容】

お問い合わせの場合は、この●部18桁（「－」ハイフン含む）の番号をご連絡ください。



製品略号　ｽﾗｯﾄNo.　製品サイズ（幅×高さ）

保証とアフターサービス

＜無償修理規定＞

取扱説明書に記載通りの正常なご使用状態で、万一故障した場合は、ご購入日より２年間は無償修理をさせていただきます。

※「スラット」「コード類」の無償保証期間は１年となります。

※次のような場合は保証期間内でも有料となります。

・取付け上の誤り、使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
・天変地異（火災、地震、水害、落雷等）による故障及び損傷。
・特殊環境（極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃等）による故障及び損傷。

修理をご依頼になる場合は、お買上げの販売店にお申しつけください。
転居などにより、お買上げいただいた販売店などが不明なときは、弊社支店にお問合せください。
尚、製品の仕様は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

立川ブラインド工業株式会社
本社：〒108-8334　東京都港区三田3丁目1番12号　TEL.03-5484-6100（大代表）
ホームページアドレス　http://www.blind.co.jp/

2011.7
942922